



お知らせ掲示板



紹介しま商会



市民病院出張所
創業 昭和23年

当院で活躍する人の
お話を紹介します。

エピソードⅠ

本の整理などです。また、小児科病棟で子どもと一緒に遊んだり、院内各所に小物の飾りつけや、患者さん用のポシェットなどの裁縫品の手作りもしていただいています。

市民の皆様との協働で病院が良くなる！
市民病院でボランティア♪

ボランティア活動に興味を持たれたことはありますか？当院では、現在、現役の大学生から70代の方まで15名がボランティアとして活動しています。内容は、外来患者さんの各科へのご案内や、車イスの介助、外来備え付けの



また、別館5階のいこいの広場にきれいなお花が咲いていますが、実はこれもボランティアの方が熱心に手入れをしてくれています。おかげさまで、以前よりきれいな広場に生まれ変わりました。今は“ペチュニア”が見頃です。

今後は、ボランティア活動がさらに充実したものになるよう検討していきます。青色のエプロンを着用しているスタッフを見かけましたら、気軽に声をかけてください。



当院周辺ゆかりの
お話を紹介します。

2時間目

かつては「出師橋」と呼ばれていた？

今回は当院最寄りの電停にまつわるお話です。当院の前を走る路線の開通時には、現在の「市民病院前」電停は、「出師橋(すいしばし)」と呼ばれていました。これは、もともとここに架けられていた長さ33mの鉄橋が、明治37年、日露戦争の折にこの地から日本軍が出兵したことにちなんで「出師橋」と呼ばれていたことに由来するものです。昭和36年の出師橋撤去と線路移設により、電停名が現在の「市民病院前」に改称されました。

ところで、皆さんは日本で最初に鉄道が走った場所がここだということをご存じですか？実はあのトーマス・グラバーさんが「アイアン・デューク号」を紹介までに長崎で走らせたのが鉄道の日本デビューだったのです。当院駐輪場前にある「我が国鉄道発祥の地」を表す碑には、当時の夢とロマンが詰まっています…。



参考資料

田栗 優一 著 長崎「電車」が走る街今昔 P92から転載
※長崎さるくコースの1つです。一度参加してみませんか。

問合せ

(社)長崎国際観光コンベンション協会

長崎さるく受付 TEL 095-811-0369



病院の理念

いかなる時も優しさをモットーとして、市民の健康を守るため、地域と密接な連携のもと良質で安全な医療を提供します。

病院の基本方針

- 1 病気を治すために必要な最新で正しい知識・技術の習得に努めます。キーワード：科学的、理論的、EBM、正確、安全性、高度医療
- 2 患者さんとその周囲の人々を癒す気持ちを持ち続けます。キーワード：人間性、哲学、宗教心、暖かさ、奉仕
- 3 地域医療支援病院として、病院内外の連携を密に地域で頼れる存在であり続けます。キーワード：協調性、チーム医療、連携、地域医療

患者の権利と責務

1.患者の権利

- (1) 全ての人にはその人格、価値観などを尊重され、医療提供者との相互の協力のもとで、公平に良質な医療を受ける権利がある。
- (2) 医療を受ける際には、理解しやすい言葉や方法で、診療内容に対して十分な説明を受け、必要な場合には第三者の意見を聞くことができ、その上で治療方法などを自らの意思で選択する権利がある。
- (3) 自身の診療記録などの開示を求める権利がある。
- (4) 基本的人権とプライバシーが守られる権利がある。

2.患者の責務

- (1) 医療提供者に対し、求められる情報をできるだけ正確に提供する責任と義務がある。
- (2) 他の患者の医療に支障を与えないよう配慮する責任と義務がある。



